

学外研修報告(酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習)

フィールド科学系部門 生物生産技術班 日山 薫

1. はじめに (目的等)

西条ステーションでは糞尿の浄化のための汚水処理施設があり、職員が管理を行っている。点検作業の際には酸素欠乏や硫化水素発生危険が伴うため、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習を受講した。

2. 期間・場所

期間：令和3年12月20日～12月22日

場所：広島県労働基準協会 林業ビル8階教室（広島市中区上八丁堀8-23）

3. 参加者等

約55名

4. 研修内容

学科講習 14 時間 30 分

- ・酸素欠乏症等の病理と症状に関する知識
- ・酸素欠乏及び硫化水素の発生原因及び防止措置に関する知識
- ・保護具に関する知識
- ・災害事例
- ・関係法令

実技講習 4 時間

- ・測定器具の取り扱い方法
- ・救急蘇生の方法及びAEDの取り扱い方法

5. まとめと感想

西条ステーションでは糞尿の浄化のための汚水処理施設の管理作業を行っている。今回の講習を受講して、マンホールの蓋を開け汚水処理施設の内部を覗き込んだ際に、無酸素空気や硫化水素を吸入して意識を失い内部に転落して死亡する例があることがわかった。これまで施設の点検を行う際にマンホールの蓋を開ける機会があったが、そのような危険については意識していなかった。今後、点検の際には内部を覗き込まないようにする、酸素濃度を測定する等の対策を行って作業にあたりたい。

実技講習では救急蘇生の方法やAEDの取り扱い方法について学んだ。西条ステーションでは酸素欠乏や硫化水素による事故の場合のみならず、他の事故で救急蘇生が必要な場面が生じる可能性があるため有意義な講習であると感じた。また、人が倒れている状況を目撃した際にすぐに駆け寄ると酸素欠乏の事故などでは二次災害の危険があるため、まずは自分の身の安全を確保することが重要であると学び、今後心掛けたいと考えた。